

# 施策項目 19 学校と地域の連携・協働の推進

[評価結果] 【担当課: 社会教育課(義務教育課、高校教育課、特別支援教育課)】



担当課 HP

総合評価	進展あり
------	------

定量評価 [指標]	C
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	0	2	0	1
d 評価となった指標		①			

定性評価 [施策]	進展あり
<p>学校や地域の状況を踏まえたコミュニティ・スクール(CS)の導入や地域の特色を活かした子どもの活動拠点づくりの推進に向けて、学校種間による導入状況や地域住民等の参画が課題となっていることから、CSの導入促進と質的向上に係る各種事業を実施した。地域住民の参画による市町村や道立学校の各種研修等の実施、北海道地学協働アドバイザーによる道立学校への指導助言などにより、課題のあった道立学校の導入率が増加するなどの成果がみられたほか、CS導入促進に関わる課題の解決に向けて、広報誌等の発行や優れた実践を収集する地学協働アワードの新たな創設など、施策の進展が認められる。</p>	

## [施策の推進状況]

【P】・・・「Plan 令和4年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」  
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	<p>(1) 地域の教育力を活かした学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民等が学校運営に参画するコミュニティ・スクール(CS)は年々増加しているが、地域や学校種により導入に違いが見られるとともに、地域学校協働活動推進員等の参画が十分ではない状況</li> </ul> <p>(2) 地域の特色を活かした子どもの活動拠点づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後や休日などにおける子どもの活動拠点づくりについては、全道的に取組が進んでいるが、幅広い地域住民の理解と積極的な参画が十分でない状況</li> </ul>
---------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(1) 地域の教育力を活かした学校づくりの推進	
[P]	<p>① CSの導入促進と質的向上 ② CSと地域学校協働活動の一体的な取組の推進</p>
[D]	<p>① 「地域創生に向けた高校魅力化の手引」等を活用した公立高等学校長会及び特別支援学校長会などの各種会議におけるCSの導入促進に関する理解啓発(CSの新規導入校数: 高等学校2校、特別支援学校18校)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村等の要請に応じた北海道地学協働アドバイザーの活用促進(15回)</li> <li>・文科省のCSマイスター派遣事業の活用</li> <li>・コーディネーター、行政職員、教職員等を対象とした「地域と学校の連携推進協議会」の開催(主管(実施日): 釧路(8月31日)、胆振(9月30日)、空知(10月31日)、留萌(11月29日))</li> <li>・学校と地域の課題に対応した地学協働の取組を促す地学協働オンライン講座の開催(10月13日、11月15日)</li> </ul> <p>② 地域コーディネーターの配置(4校4名)により、高等学校が地域の自治体や産業界等と協働した体制を構築する「地学協働活動推進実証事業(北海道CLASSプロジェクト)」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌の作成や地学協働活動に関する表彰制度を通じた、CSと地域学校協働活動の一体的な取組の推進に関する情報提供及び理解啓発(広報誌発行6回、表彰校9校)</li> </ul>
[A]	<p>① 引き続き、地域と連携・協働した魅力ある高校づくりの推進に向けた情報提供・理解に向けた啓発を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CS導入促進及び取組の充実に向けた北海道地学協働アドバイザーのより一層の活用促進</li> <li>・教職員とコーディネーター(地域学校協働活動推進員等)を対象とする研修機会の拡充</li> </ul> <p>② 管理職・担当教諭・コーディネーター等が校内体制の整備や探究型学習の充実等に関して情報交流できる機会の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌や地学協働アワード等で、道内の優れた事例や取組に関する情報を発信</li> </ul>
[C]	<p>① 道立高等学校のCS導入率が17.2%であり、全国平均の28.0%と比べて低いことから一層の導入促進が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校や特別支援学校からの要請が増えたことから北海道地学協働アドバイザーの人選など検討が必要</li> <li>・地域コーディネーター等の研修会参加人数が73名と少ないため、参加促進が必要</li> </ul> <p>② 道立高等学校において、地域学校協働本部の設置が6.0%であり、全国平均の14.2%と比べ低いことから、地域人材が学校に参画できる体制整備が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材の参画について、必要性の理解を促進するため、道立高等学校における、具体的な道内の事例の収集及び発信が必要</li> </ul>
(2) 地域の特色を活かした子どもの活動拠点づくりの推進	
[P]	<p>① 地域の実情に応じ、保健福祉部等と連携した放課後活動を支える人材を対象とする研修の充実を通じた安全・安心な子どもの活動拠点づくりの推進</p>
[D]	<p>① 市町村において補助事業による放課後子供教室や子ども未来塾を実施(放課後子供教室: 68市町村、子供未来塾: 19市町村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後活動を支える人材の資質向上を図るため、施設の感染症対策や新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえた子どもへの活動支援の方法などの専門的な講義や演習等を行う放課後活動推進協議会を開催(道内4会場 全8回)</li> </ul>
[A]	<p>① 保健福祉部と連携し、放課後子ども教室と児童クラブ等における情報の共有及び一体的な推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後活動を支える人材に対して、情報提供や資質向上研修を行う機会の拡充</li> </ul>
[C]	<p>① 子どもたちが放課後に安全・安心に学習や体験活動を行うことができる居場所づくりが必要であることから、放課後子ども教室と児童クラブの一体型での実施促進が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後活動を支える人材の育成が十分でないことから、一層の資質向上を図るため、引き続き放課後活動推進協議会において、専門的な知識や技能の習得の機会が必要</li> </ul>

## [指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施 主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象
		実績値（下段）											
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)						
① 「学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか」という質問に対して、「よく参加してくれる」「参加してくれる」と回答した学校の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】  ※R元より「保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事などの活動に参加していますか」と質問の表現が変更	小	(H29) 82.9	- 82.9	88.0 97.0	- -	98.0 93.7	100 91.3	b	全国学力・学習状況調査	文科省	R4. 4. 19	公立小・中・義務教育学校	
	中	(H29) 71.3	- 71.3	82.0 86.3	- -	90.0 79.1	100 67.7	d					
② コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入・推進状況等の調査において、コミュニティ・スクールが導入されている公立学校の割合(%)	全校種	(H29) 9.8	20.0 9.8	35.0 43.5	50.0 59.8	74.6 68.7	80 74.0	92.5%	b	コミュニティ・スクールの導入・推進状況	文科省	R4. 5. 1	幼稚園を除く公立学校
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		C						
	0	2	0	1									
新型コロナウイルスの影響により実績値が伸びなかった指標又は低下した指標に対する今後の取組	① 新型コロナウイルス感染症対策を講じ、学校外の人材との連携・協働を促進することができるよう、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を図るとともに、地域コーディネータの育成等により、地学協働の取組を推進												
d評価に対する今後の取組	① 地域学校協働本部の設置促進や地域コーディネータの育成、活用などにより地学協働の取組を推進												